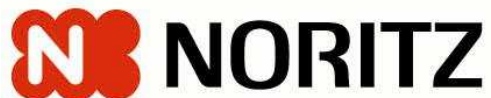


証券コード：5943

新しい幸せを、わかすこと。



2018年(平成30年)12月期 第3四半期累計 決算説明資料

2018.11.13
株式会社ノーリツ

本資料に記載されております当社の将来の業績に関わる見通しにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。

2018年12月期 第3四半期累計決算概要

■ ほぼ計画通りに進捗するも、国内・中国の厳しい市場環境は継続

2018年12月期 第3四半期（7-9月）状況

- 国内事業：台数増加・シェア拡大により
売上高・営業利益ともに計画どおり進捗
- 海外事業：中国市況悪化の影響を受けるも
売上高・営業利益ともに計画どおり進捗

2018年12月期 通期経営計画

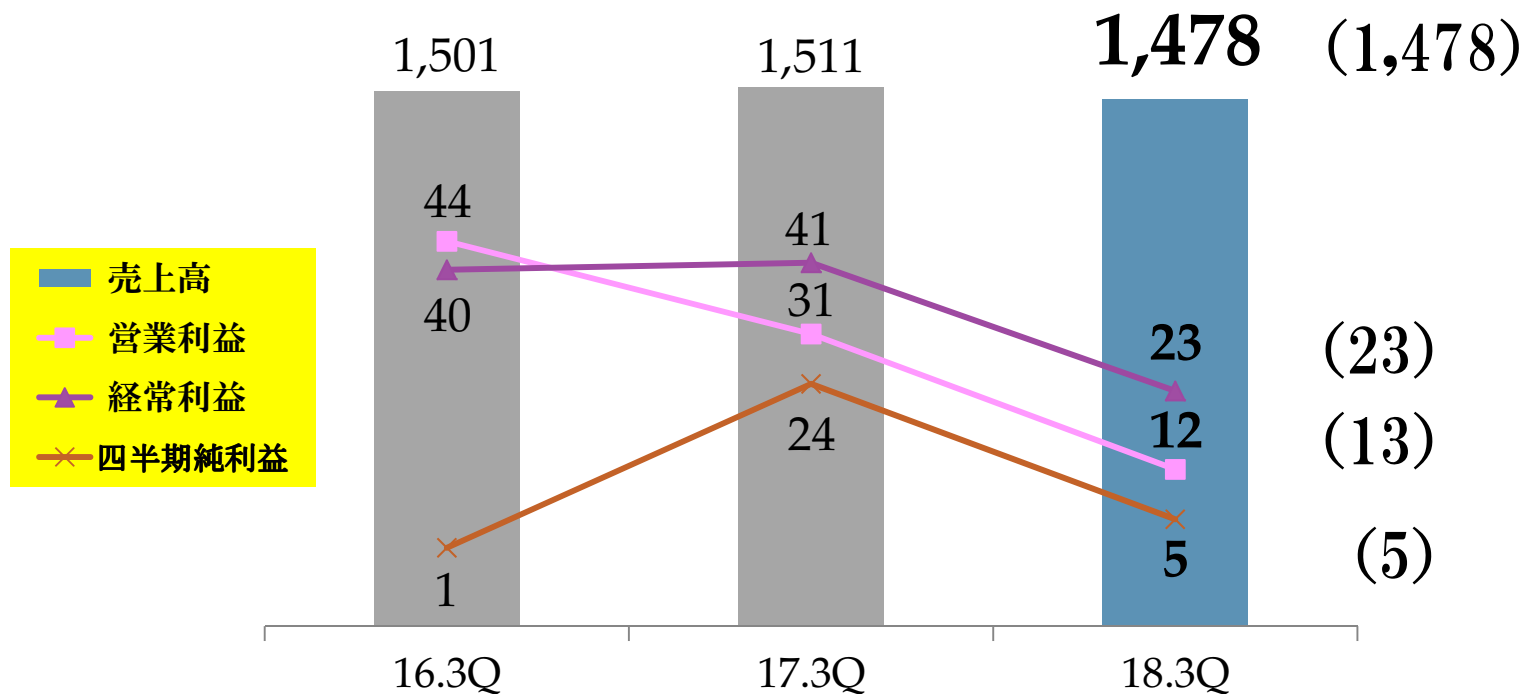
■ 繁忙期での温水、厨房拡販により通期計画達成の見込み

2018年12月期 第3四半期累計 経営成績



- 売上高：1,478億円 (2.2%減) ■ 営業利益：12億円 (60.1%減)
- 経常利益：23億円 (43.5%減)
- 親会社株主に帰属する四半期純利益：5億円 (79.2%減)
- ROE：0.6%

単位:億円 / () 内:計画



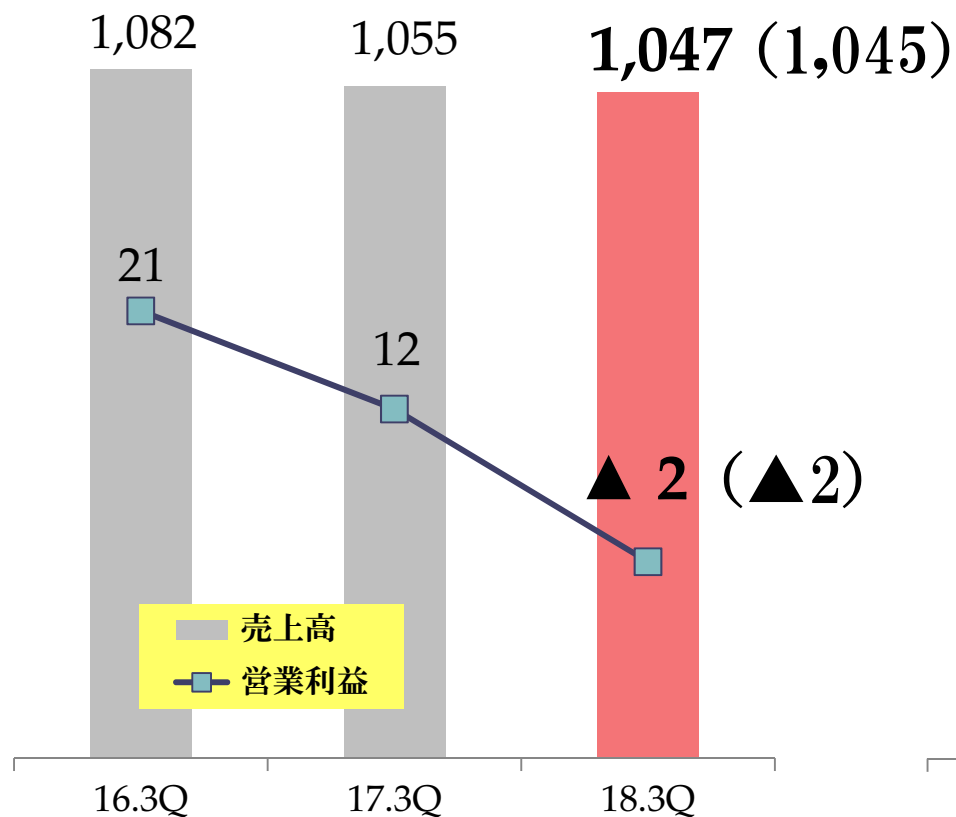
※平均為替レート 1ドル:109.5円/1元:16.7円/1ASドル:82.6円 ROEは年換算

2018年12月期 第3四半期累計 セグメント

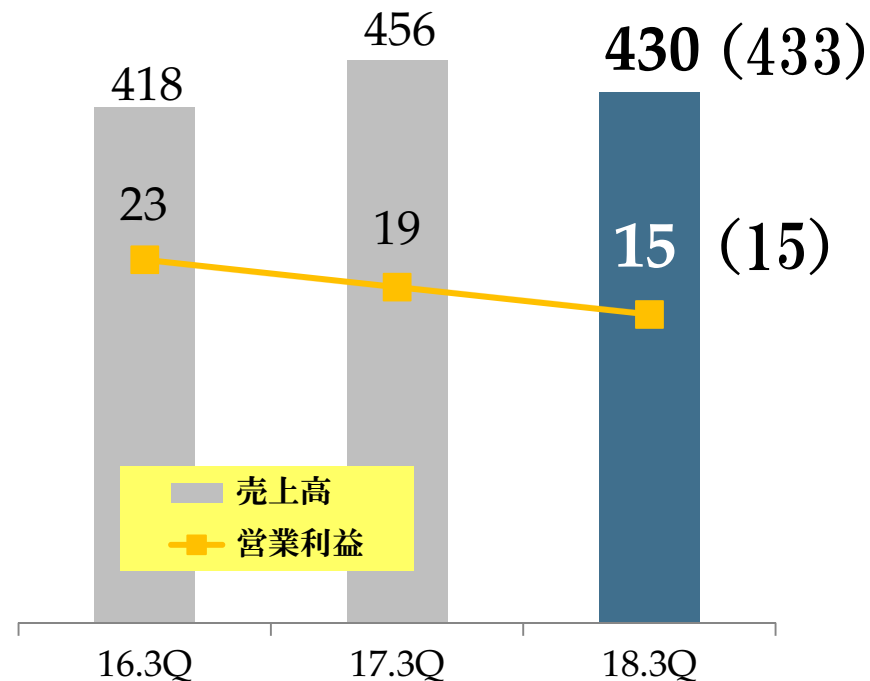


単位:億円 / () 内:計画

■国内事業



■海外事業



※内部取引額を除く

2018年12月期 第3四半期累計 国内事業 分野別売上高



単位:億円 / () 内:計画

温水空調分野



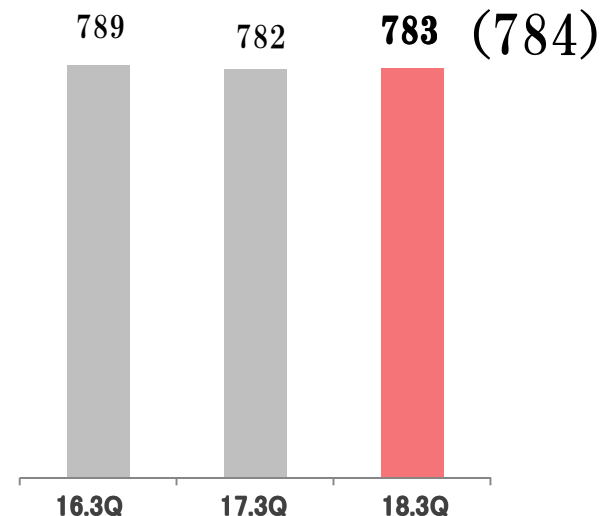
無線LAN対応
リモコン
(9月発売)



ハイブリッド
給湯・暖房
システム
(9月発売)



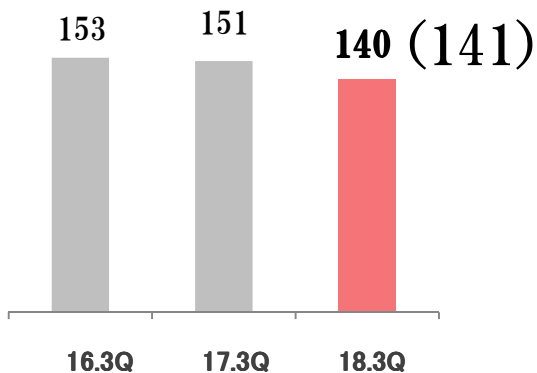
ユコア **HYBRID**



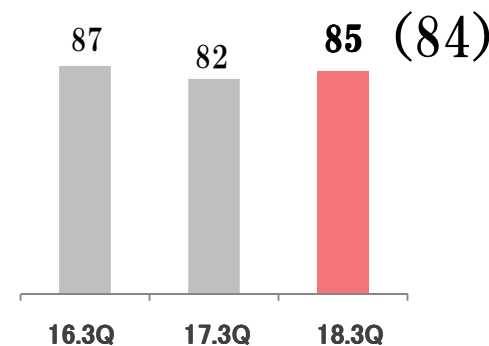
厨房分野



piatto 中級品
(8月発売)



住設システム分野

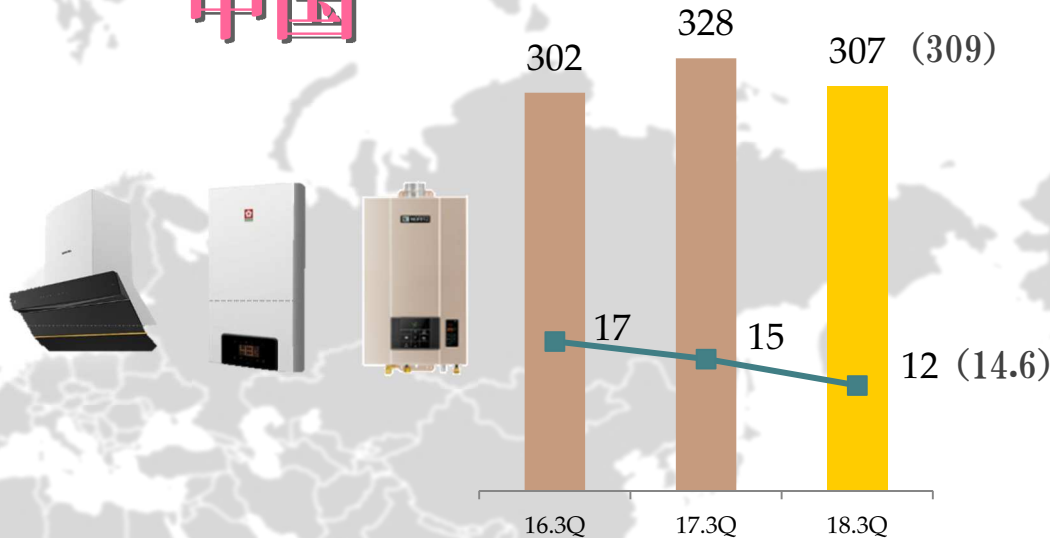


※内部取引額除く

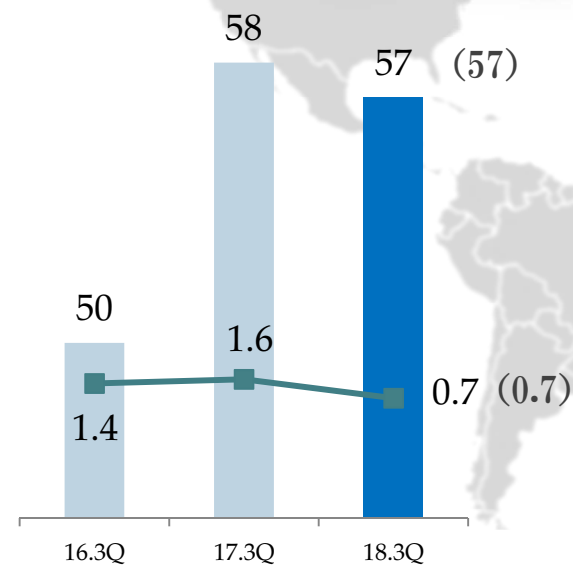
2018年12月期 第3四半期累計 海外事業 エリア別売上高

単位:億円 / () 内:計画

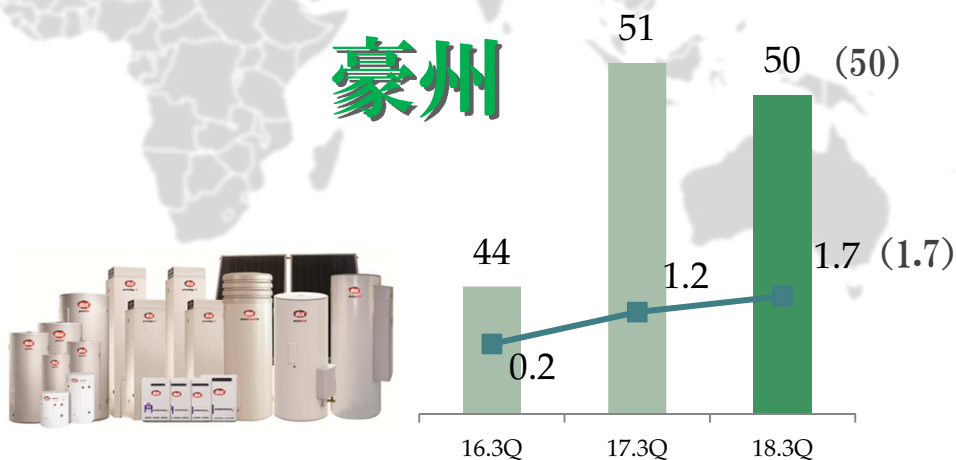
中国



北米



豪州

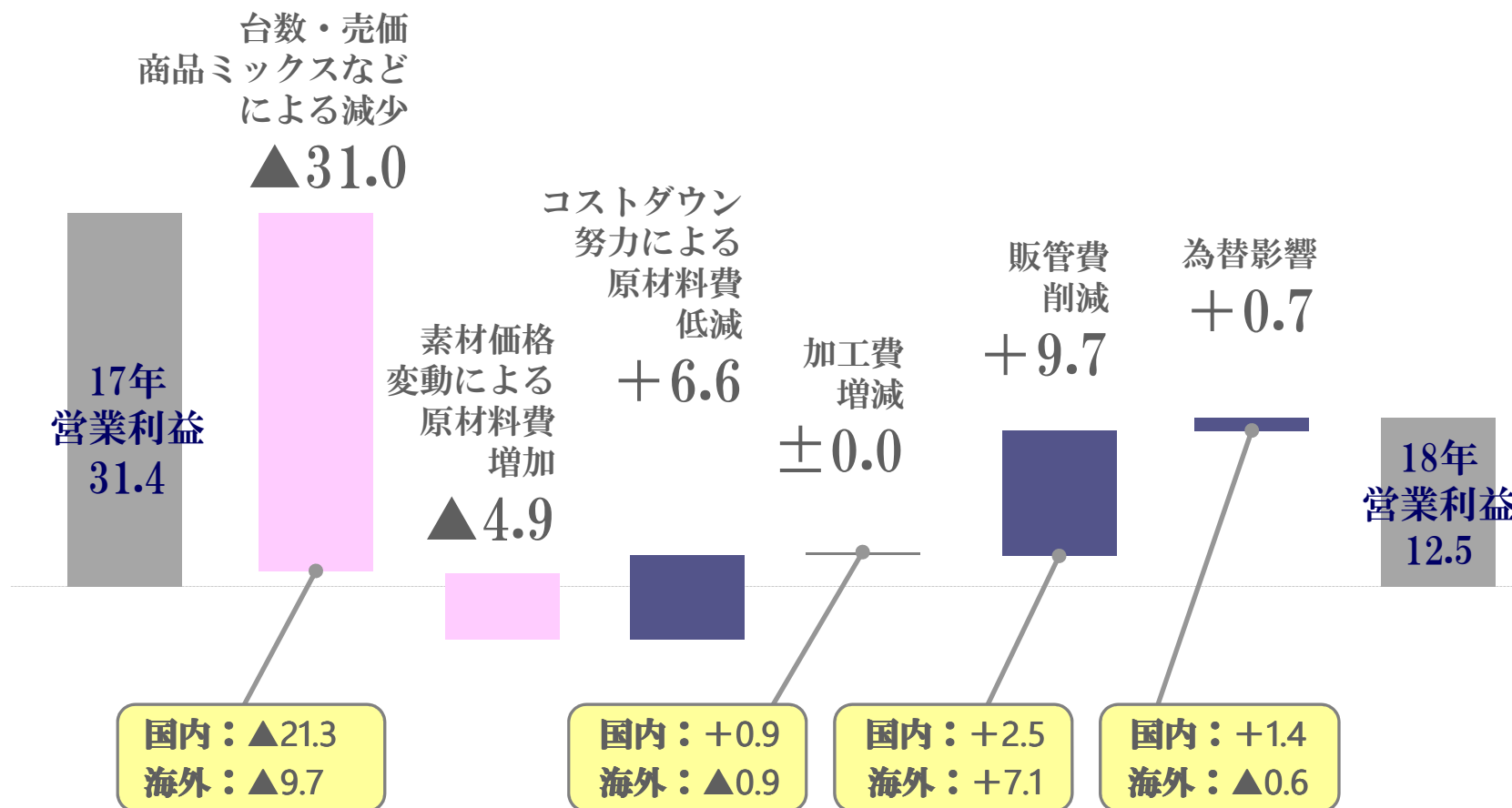


※内部取引額除く

2018年12月期 第3四半期累計 営業利益 減益要因



単位:億円



2018年12月期 第3四半期 国内事業 経営成績



◆3期実績

(計画対比)

単位:億円

	計画	実績	計画差
売上高	330	332	+2.0
温水空調分野	244	243	▲1.0
厨房分野	49	47	▲1.0
住設システム分野	27	27	+0.0
その他分野	10	13	+3.0
営業利益	▲9.0	▲8.7	+0.3

◆営業利益増減

(計画対比)

		計画	実績	備考
内部要因	売上・売価 ミックスによる影響	▲2.2	▲1.4	■厨房分野の商品ミックスが好転の兆し
	総費用増減			■加工費、材料費、販売管理費とも計画どおり削減
外部要因	素材価格 変動による影響	▲0.9	▲1.4	■銅など素材価格高騰に伴う影響▲1.4億円 計画@792円/期→実績@783円/期 (前年@687円/期)
	為替影響			■為替影響は軽微
合計		▲3.1	▲2.8	

2018年12月期 第3四半期 海外事業 経営成績



単位:億円

◆3期実績 (計画対比)	売上高			営業利益		
	計画	実績	計画差	計画	実績	計画差
海外事業	140	137	▲3.0	4.0	3.1	▲0.9
中国	98	96	▲2.0	3.0	1.5	▲1.5
能率中国	45	42	▲3.0	1.7	0.6	▲1.1
櫻花中国	53	54	+1.0	1.3	0.9	▲0.4
北米	19	18	▲1.0	0.3	0.2	▲0.1
豪州	18	18	+0.0	0.9	0.9	+0.0

◆営業利益増減
(計画対比)

		計画	実績	備考
内部要因	売上・売価・ミックスによる影響	▲2.3	▲3.3	■中国市況低迷による売上高計画の未達
	総費用増減			■販売管理費4.4億円削減
要外部	為替影響	▲0.2	▲0.1	■ドル：計画108.4円→実績109.5円 (前年111.7円) ■元：計画17.0円→実績16.7円 (前年16.4円)
合計		▲2.5	▲3.4	

第3四半期トピックス

国内事業

■ガスビルトインコンロ
高級品の機能『マルチグリル』
を初搭載した中級品が伸長



おいしさに彩りをそえる。
piatto
ピアット

18年8月発売



ふろ給湯器のリモコンと
スマートフォンが通信して
“おふろの見まもり”を実現



ハイブリッド給湯器にも
“見まもり機能”を搭載

ユコア **HYBRID**

海外事業

■能率(中国)投資有限公司
環境規制と安全・安心に配慮した
次世代給湯器を中国市場に投入

18年9月発売（現地生産）



新製品発表会の様子



2018年12月期 第4四半期 経営計画



単位:億円

◆4期計画

	前年	計画	前年差
売上高	634	621	▲13
国内事業	462	452	▲9
海外事業	172	169	▲3
営業利益	35	37	+1
国内事業	28	27	▲0
海外事業	7	9	+2

◆営業利益増減計画

		計画	内)国内	内)海外	備考
内部要因	売上・売価 ミックスによる影響	+1.0	▲2.2	+3.2	<ul style="list-style-type: none"> ■温水空調・厨房分野での商品ミックス改善 ■能率中国での新製品拡販
	総費用増減				<ul style="list-style-type: none"> ■加工費、販売管理費の削減
外部要因	素材価格 変動による影響	+0.8	+1.4	▲0.7	<ul style="list-style-type: none"> ■銅など素材価格の下落に伴う影響+1.2億円 計画@712円 (前年@780円) ■円高による影響▲0.4億円 計画@111.0円 (前年@112.8円)
	為替影響				
合計		+1.8	▲0.7	+2.5	

2018年12月期 設備投資、減価償却費、研究開発費 計画

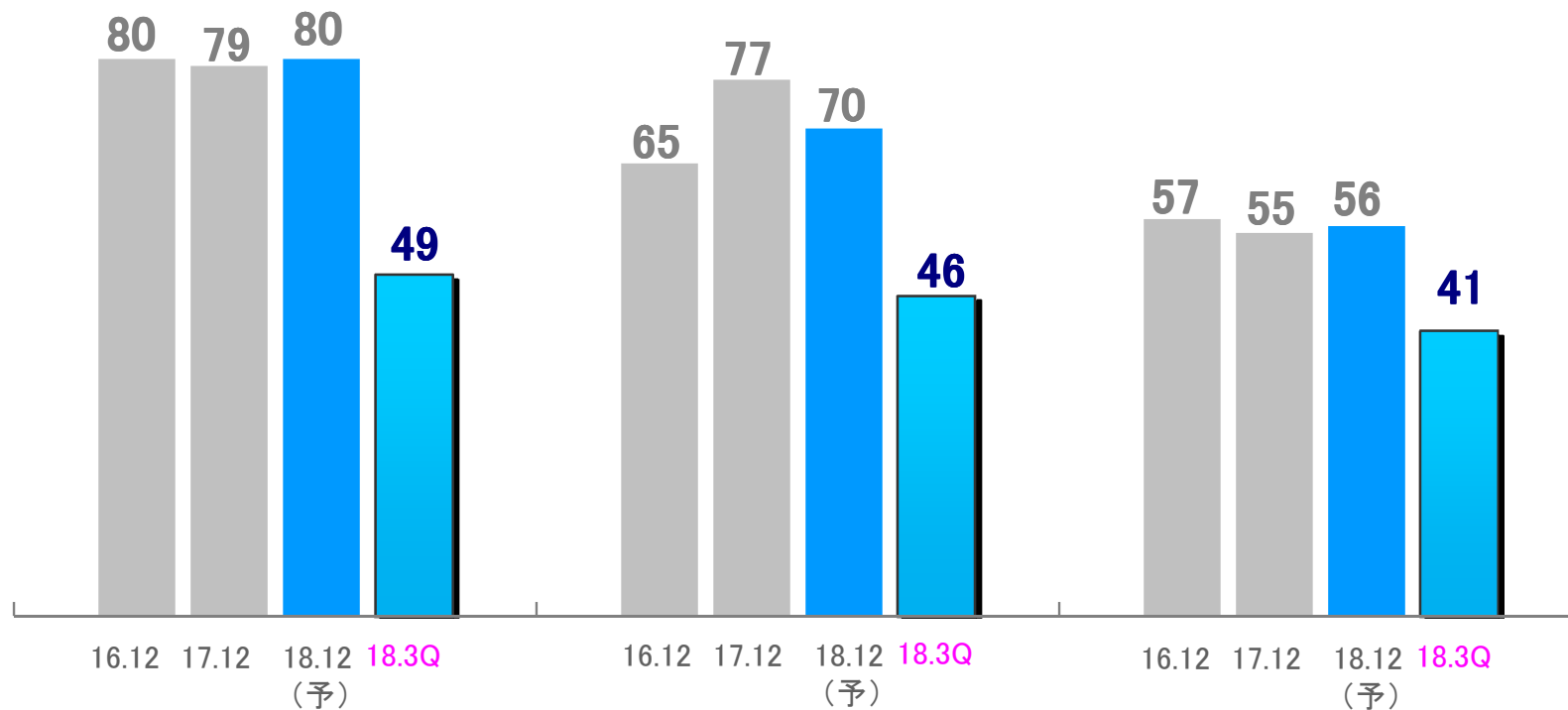


単位:億円

設備投資額

減価償却費

研究開発費



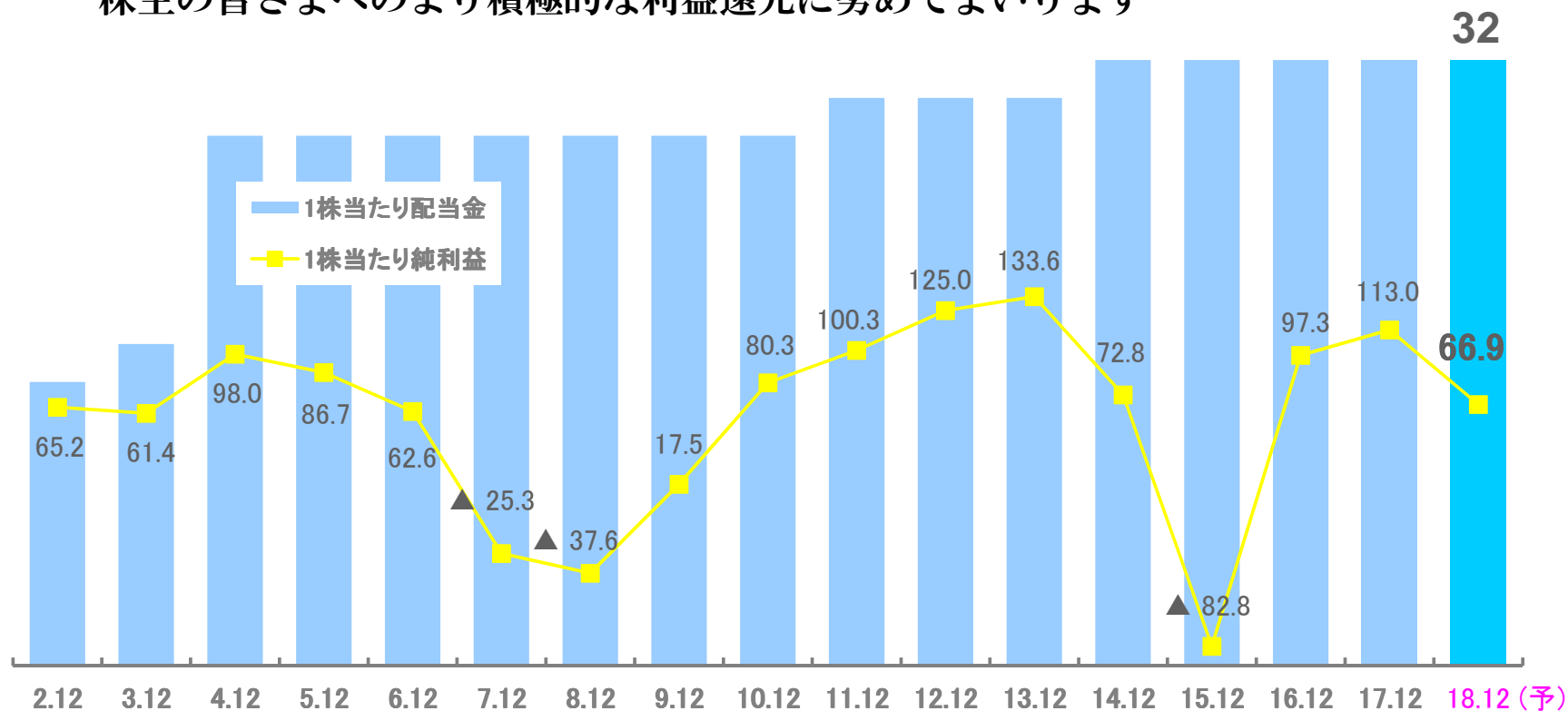
※減価償却費はのれん、商標権、顧客関連資産の償却費を除く

株主還元方針

2020年までの総還元性向を50%に設定

単位:円

2018年度から2020年度までの3か年において
自己株式取得を含めた連結ベースの総還元性向50%を目途とし
株主の皆さまへのより積極的な利益還元に努めてまいります



新しい幸せを、わかすこと。

人と地球の笑顔に向けて

暮らしの感動をお届けするノーリツグループ

IRに関するお問い合わせ先
株式会社ノーリツ 広報室 広報・IRグループ
TEL:078-334-2801
<http://www.noritz.co.jp/ir.html>